

学校と地域をつなぐ教育広報誌

第13号

2022年9月発行

狛江第一小学校開校150周年

いずみ学級開設60周年

記念号

がけ



一小セピア色の記憶

一小卒業生座談会



開校150周年記念事業への道





今から35年前まで、狛江第一小学校（一小）は狛江駅前がありました。
まだ小田急線が高架化する前のこと。
多くの子どもたちが、線路を越えて登校していました。
朝夕のラッシュ時、駅前は多くの人でごった返し。
電車の増発でなかなか踏切が開かないのです。
線路を跨いで駅の向こう、校門は目の前、なのに…。
こんなもどかしい思い、記憶に残っていませんか。

一小 セピア色の記憶

2004 思い出を刻む

明治5年（1872）、泉龍寺のお堂を仮校舎にして始まった狛江の教育。
学び舎の名は観聚学舎かんしゅうがくしゃ。一小の前身になります。

かつて一小があったのは狛江駅前。

ここに観聚学舎の流れを汲む小学校ができたのは明治14年（1881）のこと。

村唯一の小学校であった狛江尋常高等小学校から戦時中の狛江国民学校、
そして、戦後の狛江小学校から一小へ。

狛江の教育はこの地で歴史を刻んできました。

一小移転後、小田急線の高架化とともに駅北口の再開発が進みます。

ロータリーにエコルマホール、一小跡地は大きく様変わりしました。

一小の名残はロータリーの交通島に佇む石碑のみ。

そんな駅北口に小学校の記憶を残したい。

平成16年（2004）に建てられた交番横の記念碑。

狛江の教育の始まりと小学校の記憶を今に伝えています。



狛江教育発祥之地の記念碑



大正時代に建てられた門柱
移転前は体育館脇にあった

受け継ぐ歴史

学校の移転に伴い校舎は新しく
なりましたが、古くから伝わる
門柱は移設され、現在も学校北側
の門柱として使用されています。



現在の門柱

1987 駅前から和泉の原へ

一小が現在地、和泉本町一丁目（小字名は「原」）に移転したのは昭和 62 年（1987）のこと。もとは東京航空計器株式会社の敷地の一部。住宅・都市整備公団がマンション建設のため同社から用地を取得し、その後、マンション建設用地の一部が一小の移転用地となりました。



一小周辺の航空写真

右の写真は一小周辺の航空写真。撮影は一小が移転する 3 年前の昭和 59 年（1984）。一小が狛江駅の直近だったことがわかります。移転先は更地の状態。セントラルハイツもまだ建設中。校舎の着工は昭和 61 年（1986）3 月 6 日、竣工は翌年 2 月 28 日でした。



一小卒業

開校 100 周年（昭和 47 年）時に在籍していた卒業生の

通学

近藤さん 私は和泉多摩川駅から小田急線に乗り通学していました。当時は和泉多摩川駅周辺の子どもたちも一小の学区で、和泉多摩川駅から狛江駅まで電車通学でした。朝の通学時間帯は上りホームに臨時改札があり、そこを通過して登校していたので踏切は渡らずに済みましたが、帰りは下りホームのため、駅前の踏切を渡り改札口まで行きました。当時は自動改札などなく、駅員さんが手で切符を切っていましたが、一小の子どもたちはランドセルに通学定期をぶら下げていて、みんな顔パスで改札を通過していました。

谷田部さん 私は駅前の踏切を渡って通学していました。通勤通学の時間帯は開かずの踏切で、遮断機が下りているのに踏切を渡っている大人がいて、危ないなと思っていました。先生には、遮断機が下りていたら絶対に踏切を渡ってはいけない、とよく言われたので、大人がそれを守らなくていいのかと思っていたことを今思い出しました。近藤さんが言われたように、和泉多摩川駅から電車に乗って通学する子どもたちがいましたが、私は電車通学ではなかったので、すごくうらやましかったです。一人で和泉多摩川に住めば電車通学できたなあという思いがありました。公立小学校で電車通学と

荒井さん

100 周年時 3 年生



近藤さん

100 周年時 4 年生



生座談会

方々に集まっていたいただき、当時の思い出を伺いました。

いうのは今ではあまり考えられないと思いますが、当時は電車通学をする子どもたちがうらやましかったです。

荒井さん 私は当時、元和泉に住んでいたため、踏切は渡らずに通学していました。電車通学の子どもたちは、狛江駅構内の階段でじゃんけんゲームのグリコをやって遊んでいたため、うらやましく思っていました。

近藤さん 私のような電車通学の子どもたちは、下校時にみんなと道草をして帰ることができなかつたため、あえてみんなと一緒に泉龍寺の方を歩いて和泉多摩川駅まで歩いて帰っていました。

遊び・スポーツ

三角さん めんこをやっていた記憶がありますね。縄跳びなどもやりました。

近藤さん 馬跳びもやっていました。2チームに分かれて跳んでいましたが、どちらかが倒れるまでやっていましたね。また、ドリフ全盛期だったので、毎週土曜日に放送されていた、ザ・ドリフターズの「8時だヨ！全員集合」で面白いネタが出ると、翌週の月曜日にみんなで真似していました。髭ダンスなどもやっていました。

荒井さん 私はドロケイをやっていました。地域によってはケイドロと言うよう

谷田部さん

100周年時4年生



三角さん

100周年時5年生



ですね。

谷田部さん 思い出した。ゴムボールの野球をやっていたね。

三角さん やりましたね。バットじゃなくて手で打っていました。

近藤さん 「スパイ手帳」が流行っていました。「スパイ手帳」は、スパイごっこができるおもちゃの手帳なんですけど、その中に水に入れると溶けるメモがあって、それがすごくかっこよくてみんな買っていました。当時は学校の前に必ず文房具屋がありましたが、今は少子化などで文房具屋がどんどん無くなっちゃいましたね。他にも、アグネス・チャン派と天地真理派に分かれて、雑誌の記事などを下敷きに挟んで持っていました。

三角さん 授業が終わったら、学年に関わらず校庭で遊ぶのが当たり前でした。

近藤さん 休み時間も必ず校庭で遊んでいましたね。

印象的なエピソード

近藤さん 思い出はいっぱいあるのですが、みなさん、木造校舎があったのは覚えていますか？

全員 覚えています。

近藤さん あれ怖かったですよね。木造

校舎が当時あって、それこそ学校の怪談話で出てくるような、床も木で、トイレも汲み取り式だったんじゃないかな。当時冬場は、石炭を使うだるまストーブというものがあって、火傷をしないように周りを金具で覆っていたんですけど、雪が降ったときに、その金具に雪遊びで濡れた手袋をみんな干すんですよ。それで先生がだるまストーブに石炭をくべてくれると、濡れた手袋から湯気がばーっと昇っていたのが、印象に残っています。

荒井さん 100周年記念事業の岩石園は、私の父が施工していたので、よく見に行っていました。当時クレーンが無くて、重たい石を持ち上げるのにすごく危なかったもので、こっちに来るなどよく怒られていましたね。



100周年記念事業の岩石園





在校生に向けた メッセージ

三角さん 自分の夢ややりたいことがあると思います。その夢は自分で思い続けないと叶わないと思うので、夢ややりたいことを忘れずに学校生活を送っていただきたいなと思います。そして、保護者のみなさんがそれを後押ししてあげる環境を作っていただきたいなと思います。

谷田部さん 子どもたちには、素直で正直に、毎日楽しい日々を過ごしてほしいです。尊敬できる先生方や、一生の友だちをこの一小で見つけ、狛江が大好きな素敵な大人になってください。

近藤さん 一小は 150 周年なので、みなさんのお父さんお母さん、おじいさんおばあさん、ひいおじいさんひいおばあさんもこの学校で学んでいるくらい、歴史のある学校なんですよ。そのことは今いるみんなにはあまりピンと来ないかもしれないけれど、いずれ大きくなったときに、一小出身ですという人に出会おうと思いますし、その確率はかなり高いです。その時に、一小の校歌と一緒に歌える。僕もそんな経験が何回もあります。「多摩

のながれに」のフレーズだけで気持ちが一瞬になれるということがあったりします。今、一小で学んでいることを胸に刻んで、一小生であることが自慢になるように、毎日楽しく過ごしてください。

荒井さん 小学生のときは、勉強にしろスポーツにしろ、ずっと挑戦し続けていると思います。卒業して大人になるにつれ、どこかで諦めてしまうこともあるかもしれませんが、諦めてもなお、挑戦し続けてほしいと思います。校歌の二番に「狛江の森にかぎりなく ひびきゆたかにわく泉」とあるように、狛江は水と緑のまちだと思います。大人になっても、水と緑のまちで育ったということを忘れずに、挑戦し続けて頑張ってください。



当時の一小校舎

開校 150 周年記念事業への道

Q1 節目の年に実行委員長、PTA 会長、校長という立場にいる気持ち

Q2 今の一小のイメージ

Q3 150 周年に関するイベントや行事等でオススメのもの

Q4 150 周年記念事業への意気込み

150 周年実行委員会 会長 富永 恵仁



- A1 140周年に続き150周年という機会に直接立ち会い、経験できることを大変喜ばしく思っています。
- A2 歴史と伝統に生まれ、子どもたちのために先生方、PTAの皆さまがハイレベルな能力とパワーで一小を大切に想い、精一杯取り組んでいると感じます。
- A3 狛江市民まつり当日に行われる子どもたちによる150周年記念競技と大同窓会の実施、市民まつりパレードへの参加。
- A4 一小の歴史と伝統、子どもたちやPTAの想いを来たる200周年へ向けて継承します。

狛江第一小学校 第31代 PTA 会長 谷田部 一友



- A1 父も第18代PTA会長を拝命しており、この伝統ある一小において二代に渡って会長を務め、150周年の年に巡り合ったことにプレッシャーは感じていますが、それ以上に一小との繋がりの深さに運命的なものを感じています。
- A2 子どもたちは、元気にあいさつしてくれる子たちばかりで、教育が行き届いた豊かさを感じます。校舎は、今でも綺麗で狛江のシンボリックな存在だと思います。
- A3 11月13日の大同窓会！同級生、恩師に逢えるチャンス！是非とも大勢の方に来ていただきたいです。
- A4 今後の200周年と先を見越し、レガシーを残すことができればと実行委員一同考えています。市民まつりのパレードにも参加させてもらう予定です。みんなが笑顔で楽しめる事業にしたいです。

狛江第一小学校 統括校長 川崎 貴志



- A1 本校は、今から150年前、「むら邑に不学の戸なく、家に不学の人なからしめん事を期す」を理念とした学制が公布された直後に開校しました。今、往時の日本や、日本人の思いを振り返る良い機会となるとともに、身の引き締まる思いです。
- A2 古き良き伝統と、新しい時代が融合された学校だというイメージがあります。
- A3 150周年実行委員会による様々な素敵なイベントが予定されていますが、1月14日のエコルマホールでの式典がおすすめです。歴史と未来を感じられる感動的な式典にしたいと思っています。
- A4 学校、児童・保護者、地域の方々の想いが詰め込まれたものにしていきたいと思います。

周年記念事業開催概要

日時：令和4年（2022）11月13日（日）

狛江市民まつり併催 一小内にて下記のイベントを開催します。

●狛江第一小学校大同窓会（昔の学校写真や卒業アルバムも展示）

●周年記念競技・世界新種目

「枝豆投げ～みんなでめざせ150メートル！～」



Facebook



Instagram

ガク☆チキはこまえ電子図書館からも閲覧できます
<https://www.d-library.jp/komae/g0101/top/>



発行：狛江市教育委員会
〒201-8585 狛江市和泉本町一丁目1番5号
Tel. 03(3430)1111 (代)
<https://www.komae.ed.jp> 好評配信中！

